

プレスリリース 報道関係各位



2007年10月30日
社会福祉法人ゆたか福祉会

仕事と生活の調和を応援する職場を目指して、
「ワーク・ライフ・バランス」サポート宣言を行いました。

社会福祉法人ゆたか福祉会（以下ゆたか福祉会、本部名古屋市、理事長 富田偉津男、職員数 336名）は、仕事と生活の調和を応援する職場を目指して、「ワーク・ライフ・バランス」サポート宣言（別紙）を行い、ワーク・ライフ・バランス支援に向けた取組を開始いたしました。

【ゆたか福祉会での次世代育成支援の経過】

ゆたか福祉会では、次世代育成支援という言葉が存在しなかったはるか前から、その必要に迫られ様々な独自制度をつくり、有給休暇の保育休暇創設（子の看護のみならず、公的行事にも使える休暇）など当時としては先進的な制度運用を進めてきました。しかし、次世代育成支援対策推進法に基づく義務である、一般事業主行動計画の策定・届出を平成17年に行ってはいるものの、次世代育成支援をめぐる世の中の進展がある中で、率直に言ってゆたか福祉会の取組は、制度激変のあおりも受け後退か立ち止まりが目立ち、いつしか全国的に見ても平均的な水準に落ち込んでいました。

【21世紀職業財団からの「職場風土改革促進事業実施事業主」指定を契機として】

そのような中で、平成19年6月に厚生労働省所管の財団法人21世紀職業財団愛知事務所長より、「職場風土改革促進事業実施事業主」の指定を受けるに至りました。これは申請のあった事業主の中から、「家庭と仕事の両立支援制度」を利用しやすい環境整備に、取り組む意欲のある事業主を、全国300社（内愛知県下11社）指定するものです。

これは今年度からの新規事業でもあり、その重みを自覚しこれをよい契機とし、理事会が先頭に立って、人口減少社会において、ますます困難になる人材確保、人材定着、人材育成をも見すえ戦略的・先進的に、家庭生活と仕事生活との両立実現支援、次世代育成支援、そしてそれにとどまらない「ワーク・ライフ・バランス」実現の支援を行ってまいります。

※別紙資料の日付 9/22 は原案を確定した理事会の日付となっておりますのでご了承下さい。